NEWS LETTER

Vol.02 – June 2025

明海大学保健管理センター障がい学生支援室

多様な学生の学びを支えるために　Part.1

「障がい」があるということを、どのように理解するとよいのか。

「障がい」という言葉を聞くと、「周囲に害を与える」ようなネガティブな印象があり、偏見を助長し、当事者やその家族を不快な気持ちにさせることも多いのが現状です。

2023年6月にDSM5-TRの日本語版が発行されて、名称の変更が行われました。しかし、名称が変更されたことで、社会が変化することが期待できるのか、疑問が残ります。だからこそ、

①病気の理解が広まること
②治療がより進歩すること
③当事者の方が病気と上手に付き合い生きること

この本質的に大事なことを支え守ることが必要となってきます。学校という場は、学業を通してかかわっていくことになりますが、この学校という場でどのようなかかわり方で支援することができるのかを考えていきたいと思います。

「多様性を受け入れる」ということは、どういうことなのか。

多様性とは、「異なるバックグラウンドや特性を持った人の集まり」ということです。「多様性を受け入れる」ということを改めて考えてみると、『自分にもなにか人と異なるところがあること、誰もが「受け入れられる側」でもあることを自覚すること』が、本当の意味での多様性への理解なのではないでしょうか。

多様性を受け入れることがなぜ重要なのかを考えてみましょう。

①多様性を尊重することで、何かに選択を制限されることなく、のびのびと生きていくことができます。それが、穏やかな人生を送っていくためには、とても大切なことです。
②世の中の人間は、性別や人種、身体的特徴もさまざまであり、同じ物事に対する感じ方や考え方もバラバラです。多様性を重んじて、お互いに助け合うことができれば、新しい発想や解決策を講じることとができ、結果として社会や経済が繁栄していきます。

多様な学生の学びを支える工夫　Part.1



「コミュニケーション」のポイント！

1．相手に伝わるように工夫する
「伝える」ことに終始せず、相手に伝わるように意識しましょう。

2．会話のラリーを意識する
会話のラリーを意識して、自分の話しているボリュームや、相手の話す量を踏まえて、バランスを調整していきましょう。

3．メタ認知力が重要
知覚、思考、学習、記憶などの認知をチェックしましょう。メタ認知能力が高ければ、自分の話が相手にどう伝わっているかなどを相手の立場からいち早く認識できます。

4．相手に興味を持つ
興味を持ってもらえないと話したくなくなり、感情を表に出しにくくなります。

次号のテーマ：多様な学生の学びを支える工夫　Part.2
※次号からは、特性別の具体的なかかわり方をみていきましょう！